

1-1 【区企画事業に対するご意見等】

整理番号	令和元年度 区役所企画事業に対するご意見	提案部会	担当課	担当課の考え方
1	<p><b>【支え合いのまちづくり支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座については、認知症を抱える家族の話聞く機会が盛り込まれると良い。</li> <li>・認知症サポーターの広め方の工夫が必要。</li> <li>・孤立している人(さまざまな支援を知らない人や困っていること人に話したがない人)を社会福祉協議会等へ繋げる仕組みづくりや、さらにそれを広める仕組みがあると良い。</li> <li>・老々介護の現状が見受けられる。介護している世代が相談しやすいアイデアや地域が温かく受け入れられる仕組みがあると良い。</li> <li>・コミュニティ協議会で運営している地域の茶の間を包括支援センターとの相談の場として活用している。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間を高齢者だけでなく、子育て世代や障がい者など様々な方が利用できるようになると良い。</li> <li>・親が共働きだと家に1人になってしまう子どももいるのかなと思うので、自治会館の開放などにより、子どもたちと高齢者が遊んだり、勉強を見たりする関係・仕組みがあると良い。</li> </ul>	第1部会	健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座において、認知症の方の家族の話聞くことは認知症を身近に知るには効果的であると考えます。開催団体の要望も伺いつつ対応していきます。</li> <li>・認知症サポーターを広めるため、区だより等で周知するなど広報に力を入れていきます。</li> <li>・また、ご意見のとおり、孤立している人や困りごとのある人を、区や社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの関係機関につなぐ仕組みが大切です。</li> <li>・区では、75歳以上の高齢者のみ世帯で同居者が死別などにより一人暮らしになった高齢者に保健師などの専門職が継続して訪問し、必要なサービスにつないでいるほか、民生委員・児童委員は、困りごとを抱えている人を区や社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの関係機関につなぐ福祉のパイプ役としての役割を担っています。また、民生委員活動をお知らせするチラシを自治会役員の皆様へ配布するなど、民生委員の活動を支援しています。</li> <li>・さらに、支え合いのしくみづくり推進員や社会福祉協議会とともに、区政懇談会や「支え合いのしくみづくり研修会」で、買い物支援やゴミ出し支援の先進事例を紹介するなど、地域で支え合いの大切さをお知らせしており、今年度は、具体的な取り組み事例などを紹介するパンフレットを作成し、地域での支え合いの取り組みが一層進むよう、支援していきます。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域においても、子どもから高齢者まで誰もが気軽に足を運べる居場所である「地域の茶の間」の取り組みが広がっています。心配な人を見守り、孤立を防ぎ、困りごとのある人の把握をするなどの役割が期待され、皆様の取り組みに感謝しております。また、支え合いのしくみづくり推進員や区、社会福祉協議会などが、企画のお手伝いをし、多世代交流や、地域の大人や学生が宿題を見る取り組みも始まっています。</li> <li>・こうした取り組みがさらに地域で進むように、日頃から、支え合いのしくみづくり推進員が、地域の茶の間の運営に関するご相談を受け、助言や、先進的な取り組みをご紹介しているほか、区や社会福祉協議会が協働で、地域の茶の間の運営者や開設を検討している方の交流会を開催し、横のつながりをつくり、運営上の事例や困りごとを話し合う機会を設けています。</li> </ul>
2	<p><b>【西区の子育て応援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待かどうか判断に迷う際、気軽に相談できる窓口が欲しい。</li> <li>・情報の発信だけでなく、お母さん同士が顔を合わせて話ができる場も欲しい。</li> <li>・子育て情報の発信方法について、「にしっこはぐくみLINK」がメールでなくLINEを選択したのは良い。</li> <li>・BPプログラム(Baby Program/親子の絆づくりプログラム)について、事業のテキストを貸出ではなく参加者の手元に残る方法を検討してほしい。</li> </ul>	第2部会	健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉課こども支援係が児童虐待の相談窓口になっていますので、お気軽にご相談ください。</li> <li>・お母さん同士が顔を合わせて悩みなどを共有し不安を解消することを目的として、NPプログラム(Nobody's Perfect)やBPプログラム(Baby Program)を実施しています。また、坂井輪児童館や子育て支援センター、親子の居場所などでもお母さん同士の交流が行われており、こうした講座や居場所などの子育て情報を、「にしっこはぐくみLINK」などを活用して情報が必要な人に確実に周知していきます。</li> <li>・BPプログラムのテキストについては、他区との均衡、参加者の負担軽減等を考え、参加者への貸し出しもしくは購入のいずれかを本人の希望による選択制としています。</li> </ul>
3	<p><b>【西区安心安全な地域づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で取り組んでいる先進的な事例やノウハウを広めてはどうか。</li> <li>・地震もあったので、避難マップの作成は進めてほしい。いざという時の行動と一致したマップを作成し、地域に定着させることが必要ではないか。</li> <li>・避難所の鍵は行政だけではなく、地域にも預けることはできないのか検討してほしい</li> <li>・要支援者名簿の提供には、個人情報提出したがない人がいて課題があると認識している。</li> </ul>	第1部会	総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き地域住民とのワークショップを通して地域の避難マップの作成を進めるとともに、作成だけで終わらないように防災訓練などにおける活用を進めていきます。また、区だよりを活用した他地域の事例紹介などの啓発活動に取り組んでいきます。</li> <li>・避難所の鍵の保管については、現在、危機管理防災局で検討中であり、区としても地域の声を伝えさせていただきます。</li> <li>・地域へ配布している名簿は同意者名簿であり、同意した方のみを掲載していますが、市役所(区役所、消防含む)では、同意の有無にかかわらず要支援者全員を掲載した全体名簿というものも作成しています。普段は厳重に管理していますが、災害時には警察や支援団体などと共有し、要支援者の避難に活用することとしています。しかしながら、平時からの準備も大切ですので、多くの方から名簿掲載に同意していただけるよう、民生委員の戸別訪問を通して、制度の周知を進めていきます。</li> </ul>

4	<p><b>【西区特産農産物 魅力発信・ブランディング事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くろさき茶豆夏の陣の来客層を分析してPR戦略に活かすとともに、これまで以上に販売機会を拡大することにより、さらなる認知度向上に取り組んでいただきたい。</li> </ul>	第3部会	農政商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くろさき茶豆夏の陣などを通して、市内での販売促進やPRに取り組んだほか、県外を対象に、新たに新潟空港やクルーズ船、高速道路パーキングエリア、首都圏等で試食販促を実施し、多くのお客様からくろさき茶豆をご購入いただき、遠方からでも購入できる方法をお知らせしました。</li> <li>・試食されたお客様からは「甘い」「味が濃い」「こんなに美味しい枝豆は食べたことがない」という声を多数いただきました。今後も県内外のお客様への認知度向上と消費拡大を目指し、くろさき茶豆夏の陣でのアンケート調査の分析や様々な機会でのPRを実施していきます。</li> </ul>
5	<p><b>【未来につながるきれいなまちづくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西川は地域の宝。きれいにしたい。ポイ捨て対策等をしてはどうか。</li> <li>・環境を整備・美化することだけが見ただけではなく防犯面等の多方面に好影響を与えることをもっとアピールしてはどうか。</li> </ul>	第1部会	区民生活課 ・ 総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西川の環境保全については、管理者である新潟県や西川沿線の各団体で構成される「西川を創る会」がごみ捨て禁止看板を設置し、ポイ捨て対策を実施しているほか、依然としてごみが見受けられることから、県は関係機関との連携強化に今後取り組むとしています。</li> <li>・区としても、ごみのポイ捨て禁止看板の配布や、「西川流域子ども環境サミット」など子どものころから西川の環境美化に関心を持ってもらう取り組みを引き続き実施していきます。</li> <li>・また、環境美化が防犯等多方面に好影響を与えることを伝えるため、西区一斉クリーンデーのポスターやチラシの有効活用に取り組みます。</li> </ul>
6	<p><b>【げんきな保安林づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保安林が身近な地域以外の人への役割や魅力等の周知が必要ではないか</li> </ul>	第1部会	農政商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の保安林は、飛砂防止のほか、区民の散策など、憩いと健康増進にも活用されています。</li> <li>・昨年度までは、保安林整備の体験を主とした講座を開催していましたが、今年度は保安林の散策等、気軽に参加しやすい活動に講座内容を変更しています。引き続き、より多くの方に保安林の役割や魅力等を伝えていきます。</li> </ul>
7	<p><b>【西区を堪能 まち歩き・観光ツアー】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちあるきは、住んでいると当たり前で気づかないまちの魅力に気づききっかけとなる。区で取り組んでいる内野、黒埼、赤塚だけではなく、中学校区単位でも実施できる可能性がある。</li> <li>・多くの場所を巡ってもらえるように、例えばスタンプラリーといった人を動かす仕掛けが必要と思われる。</li> </ul>	第3部会	農政商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は内野・黒埼・赤塚の魅力をよく知る地元のボランティアガイド団体の皆様と連携し、まち歩きや観光ツアーを実施しています。ご意見のとおり、区の魅力の再発見と発信のためには、区の様々な地域に広げることも大切であると考えています。</li> <li>・他の地域においても活動いただける団体がありましたら区も共催でガイド養成講座を開催するなど、より多くの場所でまち歩き等を実施できるよう取り組んでいきます。</li> </ul>
8	<p><b>【出動！西区地域盛り上げ隊(中学生みらいデザイン編)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が考えたアイデアが見える化、事業化できると参加した中学生も嬉しいと思う。</li> </ul>	第2部会	地域課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業で出されたアイデアについては、ワークショップに参加いただいたコミュニティ協議会へ提案書等の形でお渡ししています。</li> <li>・昨年度実施の黒埼地区においては、災害時に中学生ができることとして「レスキュージュニア隊の立ち上げ」というアイデアが出され、4つのふれあい協議会が合同で取り組む動きに繋がっています。</li> <li>・中学生自身が考えたアイデアを地域の方と一緒に実現することで、地域活動の楽しさを感じてもらい、より地域に関心を高めることができると考えています。いただいたご意見を参考に、今後ともアイデアの実現に向けて、活動の支援に取り組んでいきます。</li> </ul>
9	<p><b>【西区への愛着を育む～魅力お届け事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住人口だけでなく、西区に複数回訪れてもらう機会を設けるなど、交流人口の拡大も大切。継続的な関係づくりに繋がるように取り組んでいただきたい。</li> </ul>	第3部会	地域課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、大学生の区への愛着を育み、卒業後の定住に繋げることを目的とするもので、区内大学と連携し、学生とともに企画検討を行うなど、学生のニーズを捉えた形で区の魅力を感じる機会を提供しようと今年度新たに実施します。</li> <li>・これまでも、まち歩きや観光ツアー等の実施により、地域の魅力の再発見と交流人口の拡大に取り組んでおりますが、本事業においても、いただいたご意見を参考に、より効果的に実施できるよう取り組んでいきます。</li> </ul>

1-2【自治協提案事業に対するご意見等】

整理 番号	令和元年度自治協提案事業に対するご意見	提案部会	担当課	担当課の考え方
1	<p><b>【地域の担い手育成(自治会・民生委員・児童委員)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合いの基本は近所づきあいと考える。</li> </ul>	第1部会	地域課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃より、自治会・コミュニティ協議会の様々な活動を通じて、顔の見える関係づくりにご協力いただいていることに、感謝申し上げます。</li> <li>・いただいたご意見のとおり、ご近所づきあいや、自治会等の行事への参加など、お互いに顔の見える関係づくりを進めることが、普段の支え合いはもちろん、いざというときに助け合える地域につながると考えます。</li> <li>・区では、転入された方を対象としたチラシの配布や区だよりを通じて、自治会活動の大切さについて周知に努めています。</li> <li>・今後も、自治協議会のご意見をいただきながら、地域の担い手育成に取り組んでいきます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで民生委員を経験された方で、やる気もノウハウもあるのに、定年のため75歳で引退せざるを得ないのはもったいない。民生委員のOBについて、さらなる活用を検討してはどうか。</li> <li>・自治会活動に参加するにあたって、いきなり役員はハードルが高い。役員とまではいかなくとも月1回程度ライトな関わりができるよう自治会の間口が広がると良い。</li> <li>・「もっと社会に貢献しよう、地域活動に参加しよう」というメッセージを定年退職者に呼びかけていくことが必要ではないか。</li> </ul>	第2部会	健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で支え合いのしくみづくりを進めるため、民生委員と連携することが重要であるとのご意見を、区政懇談会などの場でもお聞きしています。</li> <li>・区としましても、民生委員としての知識や経験をもとに、地域の茶の間や生活支援などの活動に関わっていただくことは、住民の皆様が安心安全に暮らし続けることができるまちづくりには不可欠と考えています。</li> <li>・現に、民生委員を退任された方が、現任の民生委員とともに地域の茶の間の運営などの活動をされている方や、民生委員を支援する協力員制度に登録し、協力員として活動している人もいます。</li> <li>・民生委員として経験のある人の活用を地域で進めるために、民生委員・児童委員協議会とも話し合っています。</li> </ul>
2	<p><b>【支え合いのしくみづくりの輪を広げる取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング勉強会を通じて、学校の先生ではなく、身近な地域の人から指導を受けることは子ども達のやる気を引き出すことにつながると思う。</li> <li>・自治会館に遊びにきて欲しい地域の人たちと、自治会活動に参加したいけど方法がわからない親子を結び付けるような取り組みが必要ではないか。</li> </ul>	第2部会	地域課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区の宝サポート事業に採択された「プログラミング教育を通じた教育支援環境の構築と人材活用事業」では、親世代や祖父母世代がプログラミングのスキルを学ぶとともに、地域ぐるみで子どもたちに教えることを通じ、支え合いの大切さに気付く契機となるよう自治協議会とともに取り組んでいきます。</li> <li>・区としても、自治会活動に若い世代が参加することを期待しており、毎年配布している自治会町内会ハンドブックには様々な世代から参加してもらうためのヒントを掲載し、周知に取り組んでいます。また、多世代交流等の実施にあたっては、補助金や事例紹介等の支援を行っていますのでお気軽にご相談ください。</li> </ul>

## 2【地域の課題解決のため、区全体に広めたい活動について】

整理番号	地域の課題解決のため実施している活動で、その課題が区内共通の課題であり、区全体に広めたいと考える活動など	提案部会	担当課	担当課の考え方
1	<p><b>【地域の担い手育成について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒埼地区で実施している運動会に防災活動の要素をプラスするような気軽に参加できる形が広がると良い。</li> </ul>	第1・2部会	地域課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この活動は黒埼の黒鳥地区での取り組みで、運動会と防災活動の事業を集約することにより、地域の負担感の減少と、参加者全体の増加に繋がっている良い事例だと伺っております。</li> <li>・区では、平成30年度の自治協議会提案事業『「地域カルテ」から始めるまちづくり”次の一步”』において、活動の見直しのヒントを紹介したほか、自治会町内会ハンドブックの中で、「防災訓練や清掃活動と住民交流」「地域の茶の間と子どもの居場所づくり」など、組み合わせることで効果的になる活動を紹介しています。引き続き、幅広い世代が気軽に自治会活動に参加できるよう、周知に努めていきます。</li> <li>・また、令和元年度の西区の宝サポート事業では、「地域の担い手育成」の募集テーマに、「地域内の関係づくりと自治活動への参加を促す行事カレンダーづくり」が採択されました。</li> <li>・この事業では、既存の活動を見直す方法の紹介、事業の統合や整理・転換させた事例の発表などを行いますので、多くの自治会からご参加いただきたいと思っております。</li> </ul>
2	<p><b>【空き家(地)の管理について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西区内の自治会で実施している空き家(地)の管理(作業請負)の取り組みを紹介していきたい。</li> </ul>	第1部会	総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、自治協提案事業として、空き家管理の先進事例などを紹介するシンポジウムが予定されておりますので、区としてもその開催に協力していきます。</li> </ul>
3	<p><b>【子育て経験者の活用について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県婦人連盟では、県の生涯学習推進課が主体となって、子育て経験者のおばあちゃんが、子育て支援施設に出向いて一緒に遊んだり、郷土料理教室を開催するなどの取り組みを行っている。</li> </ul>	第2部会	健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の「公民館の子育てサロン」や「子育てひろば」等においても、地域の高齢者がスタッフや保育ボランティアとして参加いただいているほか、コミュニティ協議会により、「子育てサロン」を開催いただいています。</li> <li>・このような取り組みや場所の情報を「にしっこはぐくみLINK」などを活用し、子育て世代に届くよう発信し、子育て経験者の知識等を活かしていきます。</li> </ul>
4	<p><b>【あいさつ運動の周知について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをすることは人間関係の基本であり、防犯・防災などの非常時はもちろん、顔の見える関係づくりにつながってくると思う。親が地域内であいさつする姿を、子どもたちに見せていくことは大切。基本的なことだが改めて周知してほしい。</li> </ul>	第2部会	地域課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動を登下校時間に合わせて実施しているコミュニティ協議会も多数あり、子どもだけでなく、大人同士でもあいさつが交わらせる地域になったとのお声もいただいています。</li> <li>・こうした素晴らしい活動の様子を区だよりや自治協広報紙などで紹介するとともに、実際にあいさつ運動に取り組んでいただいている地域で、自治会・コミュニティ協議会の広報紙に掲載いただくなど、取り組みの周知についてもご協力をお願いいたします。</li> </ul>
5	<p><b>【西区の海岸線などの自然の活用について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海の夕日、広い砂浜などの魅力的な自然環境を活かし、グリーンツーリズム・ガストロノミーツーリズムやアウトドア体験を提供することでさらなる活性化を図っていただきたい。</li> </ul>	第3部会	農政商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の区づくり事業では、区の魅力のひとつである赤塚の砂丘農地と日本海を見渡すことのできる展望台を立ち寄りポイントとしたまち歩きや、地元食材を地元割烹で味わっていただく昼食と、区の特産農産物である「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」の収穫体験を組み合わせた観光ツアー等を企画・実施しています。</li> <li>・また、レストランバスにおいても、区の農園や青山海岸なぎさのふれあい広場などが立ち寄りポイントとなるなど、民間での取り組みでも活用されています。今後も区の魅力である「自然」「食」「農」を活用・発信し、地域の活性化に繋げていきます。</li> </ul>